

# 取扱説明書

品質保証書付き

OMRON

8700528-8C

## MC-6740/MC-6742 わき専用

### けんおんくん



このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきありがとうございます。

- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は、品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
- 本書に記載しているイラストはイメージ図です。

### All for Healthcare

製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロンヘルスケアお客様サポート  
<http://www.healthcare.omron.co.jp/support/>

オムロンお客様サービスセンター  
TEL 0120-30-6606 (通話料無料) FAX 0120-10-1625 (通信料無料)  
受付時間 9:00～19:00 (祝日を除く月～金)  
〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370 ※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。



### 保証規定・品質保証書

#### 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償にて修理、また故障や製品によっては、交換あるいは他機種との交換を行います。
- 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターまたはご購入の販売店にご連絡ください。
- 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。  
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。  
(ロ) お買い上げ後の落下、水没などによる故障および損傷。  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
- 品質保証書の提示がない場合。  
(ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、または販売店で発行されたお買い上げを証明するものがない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。  
(ヘ) 消耗部品。  
(ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。  
(チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 修理対応期間は製造打ち切り後6年となります。

#### 品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございます。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、1年間は無料にて修理、また故障や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。

※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

This warranty is valid only in Japan.

商品型式名 MC-6740 / MC-6742

※以下のいずれかを必ず行ってください。  
・販売店にて記入、捺印していただく。  
・販売店で発行されたお買い上げを証明するもの（レシートやシールでも可）を本品質保証書に貼付または保管いただく。

お買い上げ店名

お買い上げ年月日 年 月 日

製造販売元 オムロンヘルスケア株式会社  
〒617-0002 京都府向日市寺町九ノ坪 53番地

### 1 次のものが入っていますか？

- 次のものがすべてそろっていることを確認してください。
- 本体
- 収納ケース
- お試し用電池（リチウム電池 CR1220×1個、内蔵）  
※ご購入時は、あらかじめ本体に入っています。
- 取扱説明書（本書：品質保証書・医療機器添付文書・EMC技術資料付き）
- コーションシート
- 不足しているものがありましたら、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。（P.9. サポート情報）

### 2 安全上のご注意

- お使いになる前に必ずお読みください。
- ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

#### 警告、注意について

- ▲ 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定されます。
- ▲ 注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害\*の発生が想定されます。

\*物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

#### 警告

- 測定中に体温計の近く（30cm以内）で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。  
▶ 正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

- 乳幼児の手の届くところに保管しない。  
または、子供だけで使わせない。  
▶自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。

- 電池やねじ、電池カバーは乳幼児の手の届くところに置かない。  
▶乳幼児が電池やねじ、電池カバーを飲み込む恐れがあります。電池を飲み込むと短時間で食道に穴が開くなり重症化することがあります。万一、飲み込んだ場合は、無理に吐かせようとせずに、すぐ医師の診察を受けてください。

- 検温結果の自己診断や治療をしない。  
▶自己診断は、病気が悪化する原因になります。医師の指導に従ってください。

- わき以外（耳や口腔など）で検温しない。  
▶本製品はわき専用体温計のため、正しい検温できません。  
▶耳などを傷つける原因になります。

- 本体が水などでぬれた状態で検温しない。  
▶正しい検温できません。  
▶破裂などにより、けがの原因になります。

#### 注意

- 人の検温以外に使わない。  
▶正しい検温できません。  
▶動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。

- 本体は、防水ではないため、水につけない。  
※本体水洗いできるのはフラット感温部（以下、「感温部」）の先端から約5cmまでです。  
・強い静電気や電磁波のある場所で使わない。  
・分解や修理、改造をしない。  
▶検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

- 本体を瞼まない。  
・感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしない。  
▶事故や故障の原因になります。

- ・指定外の環境条件で保管したり、使ったりしない。  
▶正しく検温できないことがあります。

- ・電池の+/-極を間違えて入れない。  
・指定外の電池を使わない。  
・電池の液が目に入った場合放置しない。すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受ける。

- ・電池を使いついたときや長期間使用しないときは、電池を本体内に入れましたまにしない。  
・電源が入ったまま、電池交換を行わない。  
・使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。  
・使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

- ・本体や収納ケースに強いショックを与えたとき、落としたとき、踏んだり、振動を与えたときにけがや本体故障の原因になります。

- ・無理に入れようとすると、本体や収納ケースが破損して、けがの原因になります。

### 3 なぜ約30秒で測れるの？（予測検温のしくみ）

#### 体温とは…

脳や内臓など、温度変化の少ない体の内部の温度のことと言います。

#### 通常、わきの下で正しい体温を測るには約10分必要

わきの下は温かいように思えますが、ある程度外気に触れているため、体の内部と同じくらいの温度になるまで、しっかり閉じて約10分かかります。

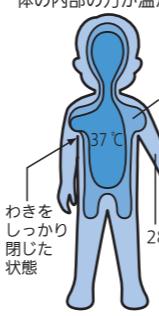
※このように体の内部と同じくらいに温まったときの温度を「平衡温」といいます。

#### 10分後の体温を約30秒で予測する

本製品は、検温開始から温度の上がりかたを分析・演算することで、約30秒で約10分後の体温を予測することができます。

#### 体の温度分布図

体の内部の方が温かい。

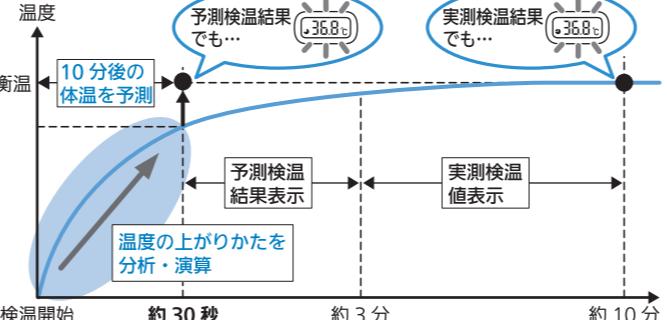


36 °C

37 °C

28 °C

わきをしっかり閉じた状態



※予測検温だけでなく、実測検温もできます。  
医師の指示などで、より厳密な検温が必要な場合は実測検温をしてください。実測検温のときは、「P.5.2 実測検温」を参照してください。

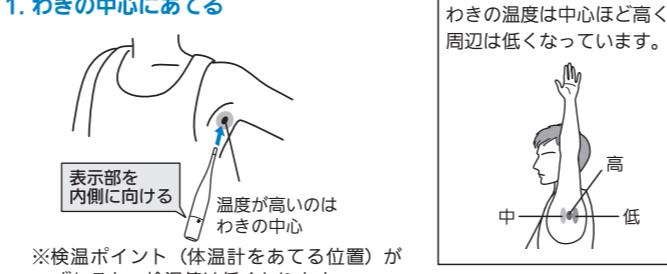
### 4 正しく測るため

- 運動や入浴、飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- 起床後、動く前に測るか、安静にしてから30分以上あけて検温してください。
- 連続して検温しないでください。一度電源を切り、30分以上あけてから検温してください。
- ・わきの下が汗ばんでいるときは、わきから汗をきれいに拭き取ってから検温してください。
- ・長時間布団の中にいたりして、熱がこもっているときは、こもった熱を冷ましてから検温してください。

#### 体温計の正しいあてかた

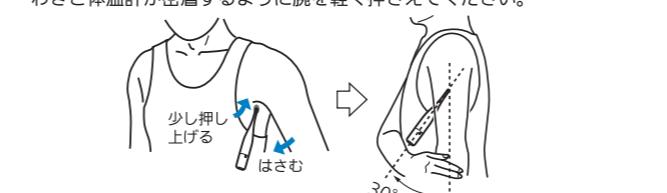
体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

##### 1. わきの中心にあてる



##### 2. 体温計を下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりしめる

わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。



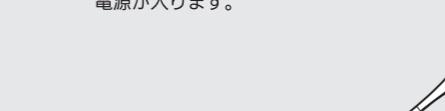
血行の状態や体格などにより、精度の高い検温値が得られない場合があります。

### 5 体温の測りかた（検温）

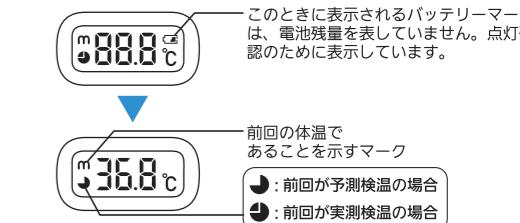
#### 5.1 予測検温

##### 1 電源を入れる。

電源ボタンを押すと、「ピッ」と音がして、電源が入ります。



表示部が全点灯



前回測った体温が表示される

△: 前回が予測検温の場合  
●: 前回が実測検温の場合

##### 2 「L」が表示されたら、体温計をわきの中心にしっかりはさむ。

※「P.4. 正しく測るために」を確認してから検温してください。

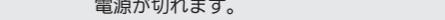


##### 3 約30秒後にブザーが鳴ると、予測検温が終了。検温結果を確認する。

※体温計のはさみかたや検温時の条件などにより、検温が延長される場合がありますが、ブザーが鳴るまでははさみ続けてください。

##### 4 電源を切って、収納ケースに入れる。

電源ボタンを押すと、「ピッ」と音がして、電源が切れます。



#### お知らせ

- この時点で電源をからずにわきにはさみ続けると、実測検温が始まります。
- 検温していない状態で、電源をからずに放置した場合、オートパワーオフ機能によって約15分後に電源が切れます。

### 5.2 実測検温

※医師の指示などで、より厳密な検温が必要な場合

#### 5.1 予測検温の③が終わっても、そのままわきにはさみ続けてください。

予測検温開始から、約3分後に実測検温値表示に切り替わります。

切り替わった直後に表示される検温値は、予測検温結果より少し下がります。

約10分後にブザーが鳴ると、実測検温が終了します。

検温結果を確認し、電源を切って、収納ケースに入れてください。

#### 予測検温終了（予測検温結果表示）

点灯

ビボビボビ…

#### 実測検温中（実測検温値表示）

点滅

ビーピーピー…

#### 実測検温終了（実測検温結果表示）

点灯

ビボビボビ…

### 6 電池の交換のしかた

## 7 おかしいな?と思ったら

表示	原因・対処のしかた
1 Er.0 数字は0~4を表示	本体が故障している可能性がある。 ▶オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。(図9. サポート情報)
2 AH-	体温計が約40°Cを超えるところに保管してあった。 ▶10~40°Cの部屋に最低1分間放置してから、検温してください。
3 AL-	体温計が約10°C未満のところに保管してあった。 ▶10~40°Cの部屋に最低1分間放置してから、検温してください。
4 JEr.0c ブザーが「化粧ボット」と鳴る	予測検温中に、わきにはさみながら体温計を動かしたり、体を動かしたりしたために、温度上昇の分析・演算に障害が生じた。 ▶そのままはさみ続けて実測検温をおこなうか、一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
5 J---.°c ブザーが「ピー」と鳴る	体温計をわきに正しくはさめていない。または、わきからずれていたために、正しく検温できていない。 ▶一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
6 ---.°c ブザーが「ビーピー」と鳴る	感温部の温度が32°C未満になっている。 ▶エラーではありません。そのまま検温を続けてください。
7 J---.L °c	感温部の温度が42°Cを超えている。 ▶感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。
8 J---.H °c	外気温(周囲環境温度)が32°Cを超えると感温部が温まり、実際の温度が表示される。 ▶感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。
9 J---.32.5 °c 数字は32.0~42.0を表示 ※体温を測っていないとき	感温部の温度が32°C未満になっている。 ▶エラーではありません。そのまま検温を続けてください。

こんなとき	原因・対処のしかた
電源ボタンを押しでも表示部に何も表示されない	電池が正しく入っていない。 ▶電池の汚れや、 $\oplus\ominus$ の向きを確認して、電池を入れ直してください。(図6. 電池の交換のしかた)
健康時の体温がこれまでより高い	電池残量がなくなっている。 ▶表示部に電池交換マーク(□)が表示された後、何も表示されない。 ▶新しい電池(CR1220)1個と交換してください。(図6. 電池の交換のしかた)
検温値がばらつく	実測式の体温計で3~5分測った場合と比べていますか?実測式で10分より短い時間で測ると、実際の体温より低い値が出る場合があります。また、正確に検温した日本人の平均的な体温(健康時)は「36.89°C ± 0.42°C」です。たとえば37.0°Cでも平均的な平熱の範囲に必ずしも発熱とは限りません。 ※【出典】東京大学医学部 田坂内科: 日新医学 44 (12): 633-638, 1957より
検温値が通常より高い または 検温値として「H」(42°Cを超える) が表示される	体温計の感温部をあてる位置が、検温するたびに変わっている。 ▶体温計の正しいあてかたを確認してください。(図4. 正しく測るため)
検温値が通常より低い または 検温値として「L」(32°C未満)が表示される	運動や入浴、飲食の直後に検温した。 ▶30分以上時間をあけてから検温してください。 長時間布団の中にいたりして、熱がこもっている。 ▶こもった熱を冷ましてから検温してください。 起床後すぐに動き出し、直後に検温した。 ▶起床後、動く前に測るか、安静にしてから30分以上あけて検温してください。 体温計が、衣服に触れないようにして、測り直してください。 ▶体温計が、感温部をわきの中心にあて、下から少し押し上げるようにはさんでください。(図4. 正しく測るため) 連続して検温している。 ▶一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。 わきの下が汗ばんでいる。 ▶わきから汗をきれいに拭き取ってから検温してください。

## 8 保管とお手入れ

### 保管時のお願い

体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

下記のようなどころには保管しないでください。故障の原因になります。

- 水のかかるところ。
- 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 振動、衝撃のあるところ。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

### お手入れ時のお願い

体温計(特に感温部)は、いつも清潔にお手入れしてください。

- 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2~3回拭き取ってください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかかるないようにしてください。
- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れたひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でさら拭きしてください。
- 水洗いは感温部の先端から約5cmに留めてください。  
水洗い後は乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってから、収納ケースに入れて保管してください。

## EMC 技術資料

本製品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC(電磁両立性)規格、IEC 60601-1-2: 2014 に適合しています。

お使いいただく際は、本製品に付属の医療機器添付文書、取扱説明書をよく読んでお使いください。

IEC 60601-1-2 : 2014 (5.2.1.1項)において、機器が安全に機能するための EMC 環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、EMC にかかる技術的な説明を以下に記載します。(詳細は IEC60601-1-2 : 2014 をご参照ください。)

IEC 60601-1-2 に代表される EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器(携帯電話等)が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。

### EMC(電磁両立性)とは

EMC(電磁両立性)とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- 周辺の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。(エミッഷン)
- 周辺の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に發揮できる。(イミュニティ)

### EMC(電磁両立性)にかかる技術的な説明

医用電気機器は、EMCに関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

- 注意
- 本機器は電磁両立性(EMC)に関して、特別な注意が必要です。本書に記載された EMC 情報に基づいて使用してください。
  - 携帯及び移動無線周波(RF)通信機器により本機器は影響を受けることがあります。
  - 本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

表1-エミッഷン適用規格および適合性

エミッഷン試験項目	適用規格	適合性
放射性 RF エミッഷン	CISPR 11	グループ1、クラスB

表2-イミュニティ試験レベル

イミュニティ試験項目	適用規格	イミュニティ試験レベル
静電気放電	IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 2 kV、± 4 kV、± 8 kV、± 15 kV 気中 外装ポート用
放射 RF 電磁界	IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 1 kHz で 80 % AM 外装ポート用
RF ワイヤレス通信機器からの接近電磁界	IEC 61000-4-3	表3 参照
定格電力周波数磁界	IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz および 60 Hz 外装ポート用

表3-RF 無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様

試験周波数(MHz)	帯域(MHz)	サービス	変調	最大電力(W)	距離(m)	イミュニティ試験レベル(V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	1.8	0.3	27
450	430 ~ 470	GMRS 460、FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦	2	0.3	28
710	704 ~ 787	LTE 帯域 13、17	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800 ~ 960	GSM 800/900、TETRA 800、IDEN 820、CDMA 850、LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700 ~ 1990	GSM 1800 : CDMA 1900 : GSM 1900 : DECT : LTE 帯域 1、3、4、25 : UMTS	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400 ~ 2570	Bluetooth、WLAN、802.11 b/g/n、RFID 2450、LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
5240	5100 ~ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

2018年6月(第1版)

機械器具16 体温計  
管理医療機器 電子体温計 14032010

医療機器認証番号: 230AGBX00059000

## 電子体温計 MC-6740シリーズ

【使用目的又は効果】  
感温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測り、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- 表示部が「検温準備完了表示」になっていることを確認します。
- 感温部をわきに挿し、密着させます。
- 予測検温を終了するまで、本体を保持します。
- 予測検温終了のブザー音で、予測検温結果を確認します。
- 予測検温のみの場合は、電源ボタンを押して電源を切れます。
- 実測検温の場合はそのまま検温を続けます。
- 予測検温開始から約10分で検温が終了しブザー音が鳴ります。
- 実測検温結果を確認し、電源ボタンを押して電源を切れます。
- 詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

- 指定の電池を使ってください。
- 電池の $\oplus\ominus$ 極を正しく入れてください。
- 周囲温度が10~40°Cの範囲で使用してください。
- 連続して検温しないでください。一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
- 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。
- 本体を収納ケースに入れる際は、本体の向きが正しいことを確認してください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- 検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、隙間はつくらないようにしてください。また、大幅に動かさないでください。
- 電池の電圧が低下すると電池交換マークが表示されますので電池を取り替えてください。
- 運動や入浴後は、30分以上あけてから検温してください。
- 飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30分以上あけてから検温してください。
- わきの下が汗ばんでいるときは、わきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- 感温部およびプローブは防漫ですが、それ以外(表示部など)は防漫ではありません。本体を水につけないでください。
- 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- 本体や収納ケースに強い衝撃を与えたり、落としたり、踏んだりしないでください。
- 分解や修理、改造をしないでください。

【保管方法及び有効期間等】

- 保管方法
  - 次のようなところに保管しないでください。
    - 水のかかるところ。
    - 高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
    - 振動、重圧、衝撃(運搬時を含む)のあるところ。
    - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
  - 保管環境条件: -20~+60°C/10~95%RH
- 耐用期間  
標準的な使用期間: 5年 [自己認証(当社データ)による]

- 【保守・点検に係る事項】
- 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
  - 勝手に改造しないでください。
  - 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
  - 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
  - 汚れたひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でさら拭きしてください。
  - 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2~3回拭き取ってください。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売元: オムロンヘルスケア株式会社  
電話: 0120-30-6606  
(オムロン お客様サービスセンター)

取扱説明書を必ずご参照下さい。